

森泉荘だより

発行日
平成18年12月1日

〒018-4515 北秋田市阿仁前田字下前田家の下モ28番地
特別養護老人ホーム 森泉荘
TEL (0186) 75-3204 FAX (0186) 75-3205
メールアドレス shinsensou@gamma.ocn.ne.jp

No. **37**



紅葉ドライブ

ダム資料館と、建設中の森吉山
ダムを見学しながら、秋の景色を
満きつ!

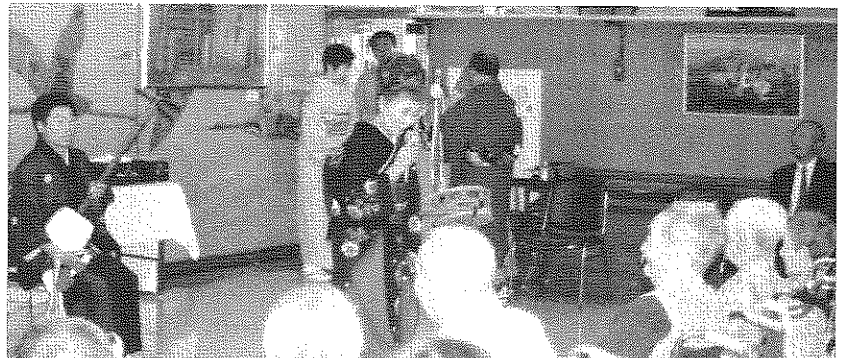
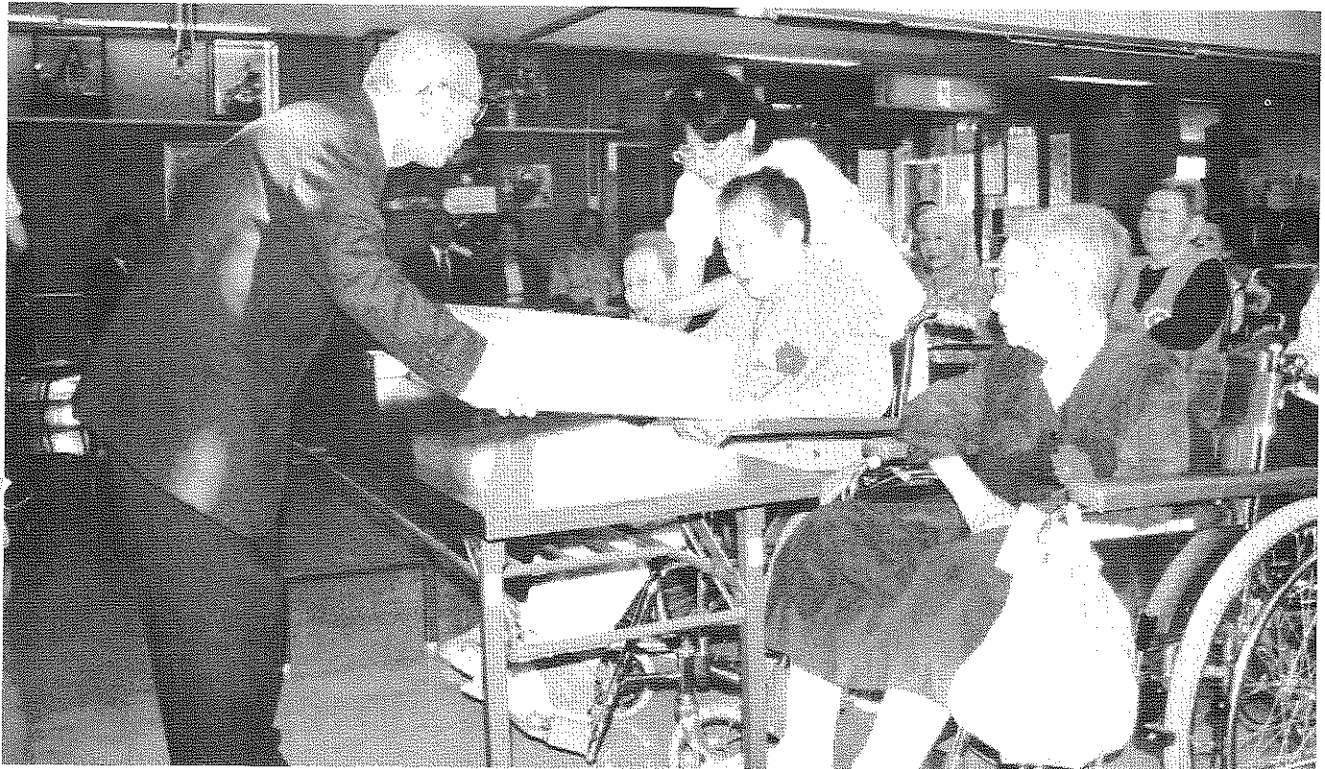
いつまでもお元気で!!

—家族と祝う敬老式—



99888875
 才才才才才
 代表代表代表
 和武織松
 田石田浦
 ツイミツツ
 マトエタ
 様様様

平成18年度社会福祉法人交楽会主催の敬老式が9月9日、森泉荘で行なわれ、家族や職員、市の祝福を受けながら互いの長寿を喜びあった。
 対象となられたのは、長期に利用されている方50名、短期に利用されている方5名の計55名。
 伊藤幸悦理事が「いつまでも元気で長生きして下さい」とあいさつ。次いで北秋田市福祉課長がお祝いのメッセージを贈りました。
 利用者を代表して秋元千歳さんが「おかげさまで、私たちも仲良く、楽しく生活しております。今後ともよろしく願います。」とお礼の言葉を述べました。
 敬老式終了後は、柏木妙子様ご一行による民謡が披露され、お祝いに駆けつけた家族らと一緒に長寿をお祝いしました。



伝統の舞、観客魅了

無形文化財の根子番楽、阿仁前田獅子踊り一行が森泉荘を訪れ伝統の舞を披露しました。荘玄関前の駐車場には利用者のほか地域の人も多数詰めかけ所狭しと躍動する若勢衆の勇壮な舞に拍手喝采。四百年の伝統がもし出す古典の世界にしばし酔いしれました。豪快な太鼓の音と哀調をおびた笛の音が、みちのくの短い夏に別れを告げるかのように響きわたりました。

国の重要無形文化財

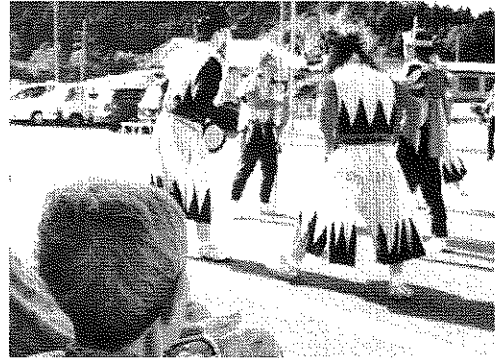
根子番楽



県の指定

無形文化財

阿仁前田獅子踊り



御詠歌のお唱え

佛の教えに心を動かす

秋晴れのさわやかな天候のもと福寿寺梅花講の皆様と一緒に御詠歌を唱えました。仏様やご先祖様に対するご供養をすると共に、それぞれの心の中にある信仰を深めました。同荘外庭の観音様の周辺では春は観桜、秋は七角山の紅葉を楽しんでいます。地域の方も是非一度お立ち寄り下さい。



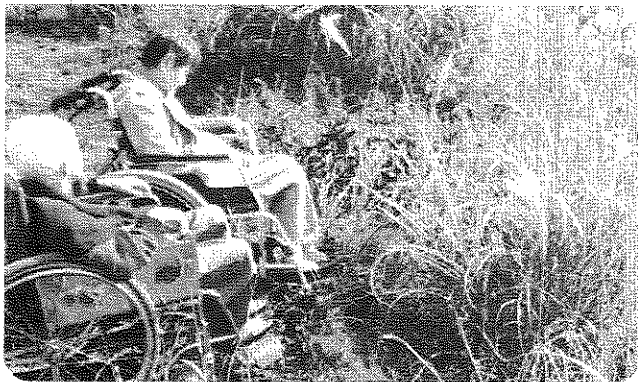
四季折々を体感

四季折々を体感



紅葉 ドライブ

秋晴れのもと、森吉方面にドライブに出掛けました。錦の山々と、高原のさわやかな風が、ススキの穂をゆらしていました。



七夕

今日は天気も良く、天の川もはっきり見えそうです。今年はどんな願い事を書いたでしょうか。



花菖蒲

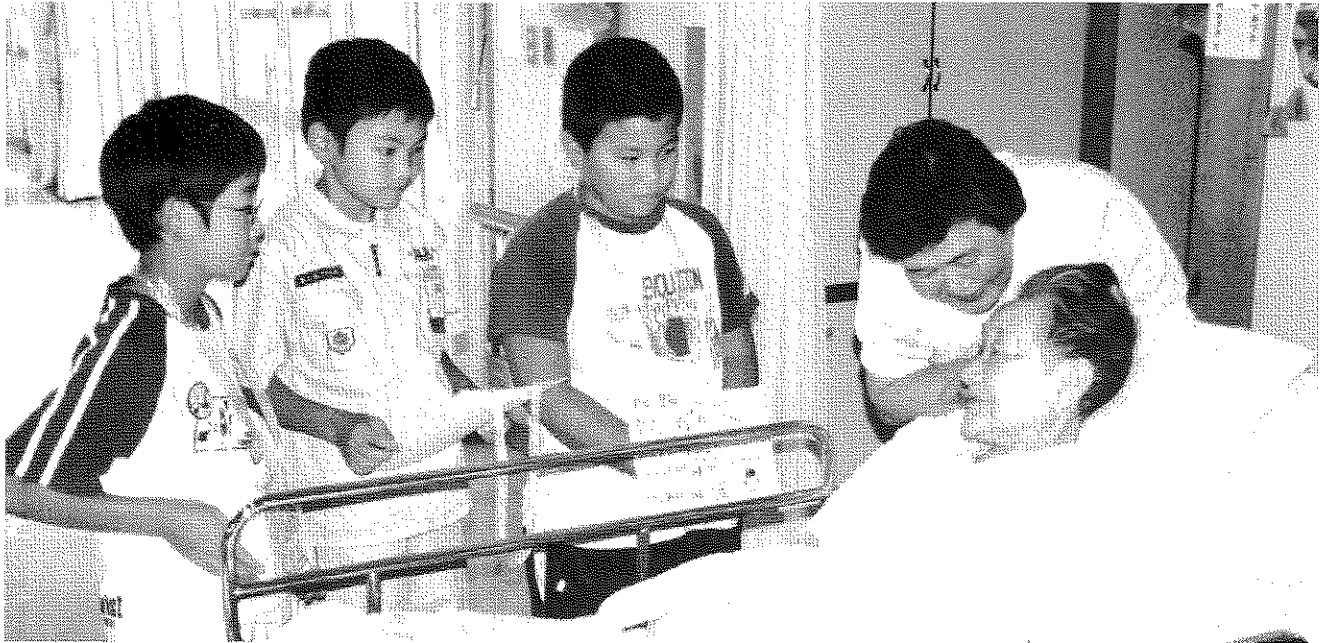
紫や白の色とりどりの菖蒲300万本にかこまれて、みなさんお姫様気分になられたようでした。



あじさいドライブ

色あざやかに咲き誇るあじさいに出会いました。夏本番を迎えるかのように幻想的な彩りが広がっていました。

世代を超えた会話がはずむ！



▲前田小学校の子供達とのふれ合い

前田小学校の児童が森泉荘を訪れ、歌や踊りを披露して利用者の皆さんを楽しませてくれました。

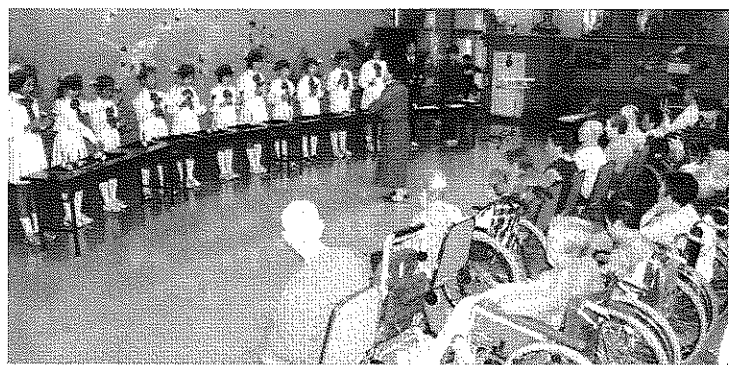
ふれ合い体験学習の一環として毎年同荘を訪れているもので今年も一年生から六年生までの児童が学年ごとに“波状的”に訪問、日頃の練習の成果を披露したり、お年寄りとお話を楽しんだりしました。児童らのかわいらしい歌声や元気あふれる踊りに集合した利用者も目を細めて感激。車イスにもたれた肩も思わずリズムを刻んでいました。



▲前田小学校1年生によるかわいらしい歌声

ふれあいタイムでは、お年寄りとうまく会話が成立しなくて四苦八苦している場面もみられました。自己紹介や昔話などを聞いているうちに次第に打ち解け、世代を超えたなごやかな光景が繰り広げられました。

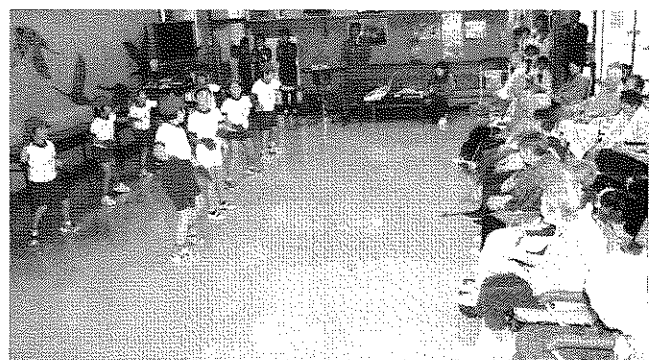
また、浦田小学校では全校児童が、学習発表会での演目を披露。歌あり踊りあり楽器演奏ありの多彩なプログラムに大きな拍手が寄せられました。



▲浦田小学校によるハンドベル

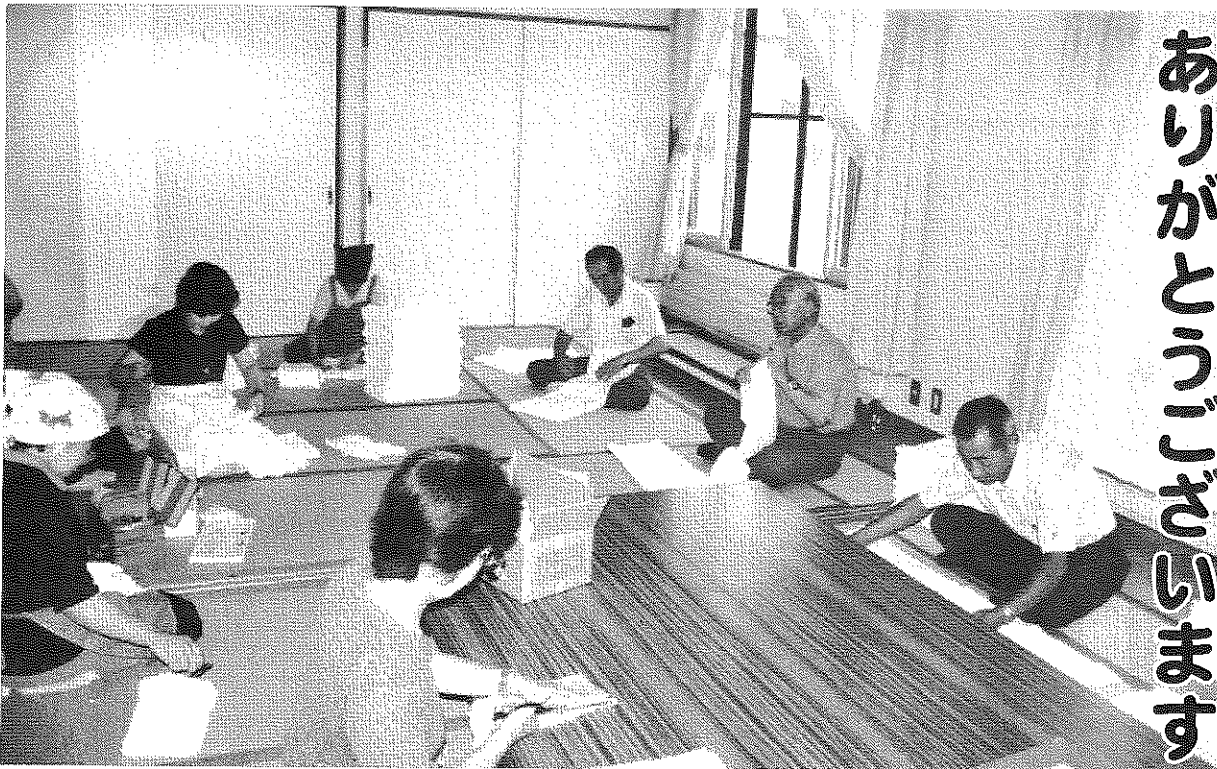


▲一緒に歌った「手をたたきましょ」



▲元気あふれる踊りに目を細めて

ボランティア
ありがとうございます



▲森吉地区民生児童委員障害者部会



▲神成いきいきサロン



▲阿仁前田いきいきサロン



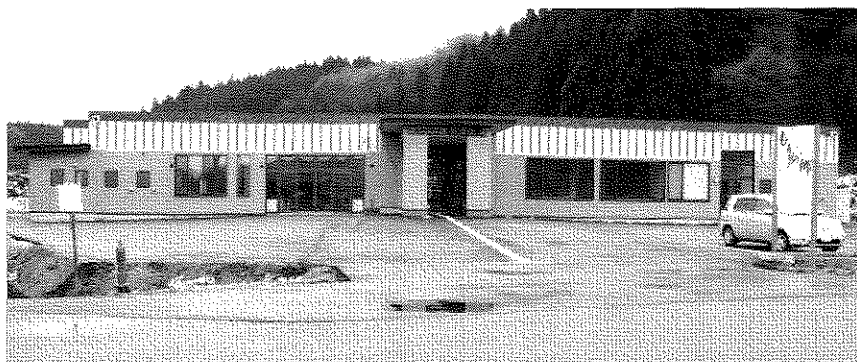
▲森吉地区民生児童委員障害者部会



▲九島ティグループ

複合センター もりの郷オープン — 共同生活住居で自立目指す —

森泉荘などを運営する社会福祉法人交楽会では、このほど阿仁前田平里地区に複合センター「もりの郷」を開設しました。一つの建物の中で「認知障害者グループホーム」「高齢者デイサービス」「知的障害者の生活棟」の三事業合築という形は、県内では珍しい取り組みとなります。

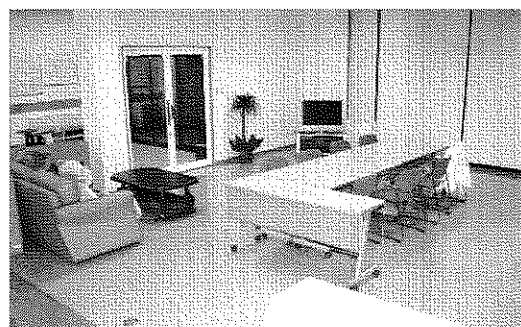


建物は鉄筋平屋建て、延べ床面積861平方。総事業約1億2千万円。

建物に向かって左側はグループホーム、右側は地域生活実習棟とデイサービス用スペース。グループホームは定員9人。ホールと一体になった



居間兼食堂



地域交流スペース

居間兼食堂などを備えています。森幸園利用者の知的障害者の地域生活実習棟は定員7人。部屋はいずれも個室。玄關脇には地域の会合や展示会などが開ける地域交流スペースを確保。敷地内には知的障害者の働く場として地域作業訓練所を設けています。グループホームの利用者は北秋田市だけ。また、デイサービスは同市と上小阿仁村の人が対象となります。認知症のお年寄りが、共同生活の中でその人らしい生活を。障害者が地域やいろんな人とのふれ合いの中で自立した生活を—ひとつ屋根の下で目指します。

森 泉 荘 利 用 者 の 現 況

1. 年齢別人員

(平成18年12月1日現在)

| 区分 | 60未満 | 60~64 | 65~69 | 70~74 | 75~79 | 80~84 | 85~89 | 90~94 | 95~99 | 100~ | 計 | 平均年齢 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|------|
| 男 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 | 76.1 |
| 女 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 | 7 | 17 | 7 | 2 | 1 | 41 | 85.9 |
| 計 | 1 | 1 | 2 | 1 | 8 | 8 | 18 | 8 | 2 | 1 | 50 | 84.1 |

短期入所(平成18年度)

| 区分 | 実人員 | 延人員 | 延日数 |
|----|-----|-----|-------|
| 男 | 1 | 1 | 9 |
| | 5 | 9 | 88 |
| 女 | 9 | 13 | 147 |
| | 23 | 107 | 1,208 |
| 計 | 10 | 14 | 156 |
| | 18 | 116 | 1,296 |

2. 出身市町村

| 区分 | 森吉地区 | 鷹巣地区 | 阿仁地区 | 合川地区 | 大館市 | 計 |
|----|------|------|------|------|-----|----|
| 男 | 6 | 1 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| 女 | 27 | 4 | 4 | 4 | 2 | 41 |
| 計 | 33 | 5 | 5 | 5 | 2 | 50 |

3. 要介護度

| 区分 | 要支援 | 介護度Ⅰ | 介護度Ⅱ | 介護度Ⅲ | 介護度Ⅳ | 介護度Ⅴ | 計 |
|--------|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 男 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 5 | 9 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 3 | 15 | 23 | 41 |
| 計 | 0 | 0 | 1 | 3 | 18 | 28 | 50 |
| % | 0 | 0 | 2 | 6 | 36 | 56 | 100 |
| 平均要介護度 | | | | | | | 4.5 |

下段は累計

ボランティア紹介

(H18. 4. 1~H18. 10. 31)

敬称略

演芸披露

- 浦田小学校全校児童の皆さん
- 阿仁前田獅子踊り保存会
- 人形劇団ぶらんこ
- 根子番楽保存会

御詠歌披露

- 福寿寺梅花講

作業奉仕

(団体)

- 森吉婦人会小又支部
阿仁前田支部
前田地区
米内沢地区

- 森吉日赤奉仕団
- 秋田県看護協会鷹巣阿仁支部
- 更生保護女性会前田支部
- 森吉地区民生児童委員
- 阿仁前田いきいきサロン
- 惣内いきいきサロン
- 浦田いきいきサロン
- 神成いきいきサロン
- コスモス会
- 森幸園利用者

(個人)

- | | |
|---------|----------|
| ● 佐藤 栄子 | ● 嘉成 ムツ子 |
| ● 細田 怜子 | ● 九島 トイ |
| ● 松橋 キノ | ● 九島 サダ |
| ● 石郷岡ヒサ | ● 九島 キヨ |
| ● 九嶋シヅエ | ● 九島 チヨ |
| ● 北村レイ子 | ● 九島 テイ |
| ● 疋田 博子 | ● 武石 イツ |
| ● 近藤 ミヤ | ● 武石 ヨシ |
| ● 工藤 冴子 | ● 森川 亜樹 |

善意

(H18. 4. 1~H18. 10. 31)

(団体)

- 阿仁前田地区理容師組合
- 福寿寺梅花講
- 更生保護女性会前田支部
- 前田駅前婦人会
- 根子番楽保存会
- (株)秋田中央リース
- 森吉婦人会小又支部
- J A 葬祭センター

(個人)

- | | |
|---------|---------|
| ● 杉渕 秀昭 | ● 伊藤 重夫 |
| ● 奥山 謹英 | ● 疋田 長一 |
| ● 北林エツ子 | |

受入・研修学習状況

(H18. 4. 1~H18. 10. 31)

- 合川高校介護福祉科
(平成18年5月15日~19日 2年生 4名)
(平成18年5月29日~6月23日 3年生 3名)
(平成18年6月12日~16日 3年生 3名)
(平成18年6月19日~23日 2年生 4名)
- 森吉中学校職場体験学習(キャリア教育実践プロジェクト事業)
(平成18年5月22日~26日 1年生 2名)
- 秋田大学医学部 (平成18年6月30日 3名)
- 米内沢高校インターンシップ(就業体験)
(平成18年8月1日~3日 1名)
- 能代文化学院主催訪問介護員養成研修2級課程実習
(平成18年8月21日~9月26日 1名)
- 前田小学校施設訪問(ふれあい体験)
(平成18年9月14日 4年生 19名)
- 秋田看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科施設実習
(平成18年9月4日~22日 2年生 2名)
- TBKメディカルスクール訪問介護員2級課程養成研修
(平成18年10月11日~ 1名)
- 前田小学校施設訪問(ふれあい体験)
(平成18年10月26日 1年生 13名)

こらむ

カレンダーが師走に入った。待ってましたとばかりに街にはイルミネーションが点灯し、商店からはジングルベルが流れている。熱を帯びているクリスマス商戦を尻目にいつも思うことがある。どうしてキリスト教徒でもないのにクリスマス前の誕生をこもも賑々しく祝うのかと。今や国民的イベントともなったクリスマスだが、そもそも戦後進駐軍の宗教行事が商業ベースに乗り広まったものである。トナカイ、ツリ、サンタ、プレゼント、ケーキといった子供達の夢とメルヘンが折り込まれ商業ベースに乗せるには格好のセレモニーだったのである。お祭り好きの日本人ならではの発想だが、それなら仏教国である日本はお釈迦様の誕生日(花まつり)をもっと盛大に祝うべきであり、クリスマスに負けない商業戦略があってもよいと思う。

施設でも毎年ささやかながらクリスマス演出しているが、戦前、戦中を生き抜いてきた利用者が子供時代にはサンタのプレゼントも無いクリスマスそのものが無かった。国民的イベントとはいえず、子供の頃にクリスマスに対する夢や体験がないお年寄りに保育園じみた演出がはたして昔を懐旧するセレモニーになりうるのか、毎年この時期になると素朴な疑問を感じてしまうのは(こだわり)私だけでしょうか。(Y.O)